

バラ茎頂由来シュートの発根処理および
鉢上げ・馴化条件について

古市崇雄・十島秀樹

バラ茎頂由来シュートの発根処理に用いる最適な培地組成を明らかにするために、無機塩組成・オーキシン組成・糖組成および培地支持剤について検討した。また、馴化のための鉢上げ時期および用土についても検討した。得られた結果は次の通りであった。

1. 無機塩組成は、Murashige-Skoog 培地の無機塩濃度を半分とした 1/2MS 培地が最適であった。Woody plant medium, B5 および Hyponex 培地の根誘導効果は 1/2MS 培地に比べて劣った。
2. 添加するオーキシンは、IAA が適し、その添加濃度は 0.03~0.3 mg/ℓ が適当であった。IBA と NAA の根誘導効果は IAA に比べて劣った。
3. 添加する糖は、シヨ糖が適し、その添加濃度は 10~20g/ℓ が適当であった。ブドウ糖の根誘導効果はシヨ糖に比べて劣った。高濃度添加は糖の種類に関わらず阻害的な効果しか示さなかった。
4. 培地支持剤としては、ゲルライト(2.5g/ℓ)が適し寒天、アガロースおよびκ-カラギーナンの根誘導効果はゲルライトに比べて劣った。
5. 上記の4つの要因について最適と思われた条件を組み合わせた培地、すなわち IAA0.3 mg/ℓ, シヨ糖 20g/ℓ 及びゲルライト 2.5g/ℓ を添加した 1/2MS 培地においては、4ヶ月内に 93.0%の幼苗を鉢上げすることができた。
6. 鉢上げ時期別の活着率(生存率)は 6月~8月(夏期)が 76.3%を示し、他の時期に比べ安定していた。また、鉢上げ用土別の活着率はバーミキュライト単用区が年間を通じて安定し、56.4%を示した。